

ふるさと交流だより

「都市農村交流バス支援制度」に



「農村ボランティアバス」が誕生しました!

農村ボランティアバスって何?

現在、農村ボランティア新規会員募集や、会員の研修のために、事務局である兵庫楽農生活センターがふるさとむらと共催して、研修会を開催し、バスを運行しています。しかし、年間の台数に限りがあったため、受入を希望するふるさとむらや、「こんなふるさとむらで活動してみたい」というボランティアの方々のご要望を満たすことができませんでした。そこで、今年度から「農村ボランティアバス」が誕生しました。

これまでの研修会のバスとどう違うの?

各ふるさとむらがボランティアの皆さんに作業をお手伝い頂きたい日や作業内容を計画し、参加者を募集します。10人以上の参加があれば、ふるさとむらが運行するバス経費に助成金が交付され、年間を通して何度でも、活動に訪れてくださるボランティアの方々の交通手段として利用することができます。またボランティアの方が10人以上のグループで活動してみたいふるさとむらがあり、その集落との連絡調整が必要な場合は、事務局がボランティアの方とふるさとむらとの橋渡しの役割をさせて頂きますので、ご相談ください。ボランティアをしたい気持ちがあっても、交通手段の問題で諦めていた地域へ活動の場が広がります。

募集のお知らせや、バスの出発場所は?

ふるさとむらが参加者募集する場合、必要に応じて事務局から農村ボランティアの皆さんに、ご案内を送付します。バスの出発場所や日程については、ふるさとむらが企画しますので、都市部から運行する場合もあれば、公共交通機関の最寄り駅集合の場合もあります。

参加費は?

参加するにあたって必要な経費（作業に必要な資材や資料等、昼食を準備する場合は昼食代も）を、当日ふるさとむらへお支払いください。参加費の設定は、ふるさとむらや、当日の作業内容、参加の方法によっても違う場合があります。

これまでの活動研修会はなくなるの?

年間4回程度、新規のふるさとむらや、活動を始めたばかりの地域などに重点をおいて実施します。

*参考（バスの助成制度について）

ふるさとむらが参加者募集する場合、ボランティアの方がグループを作られる場合、いずれの場合も、バス運行経費助成の申請はふるさとむらから提出していただきます。日帰りで25,000円、1泊2日で50,000円が助成されます。（*日帰り、1泊2日の場合とも、バスの借上経費が25,000円、50,000円を下回る場合は、その借上経費が助成額となります）。

「長時間の車の運転には自信がない・・・」「農作業で疲れた後の運転はちょっと不安・・・」
「電車とバスを乗り継いで行く時間がもったいない・・・」という方の交通手段としてご利用ください。いつも通っているふるさとむらにも、お友達を誘って出かけてみませんか?



ふるさとむらに仲間入りしました

平成 23 年度から新しく、農村ボランティアの力を借りて集落の活性化を図っていこうと、市川町坂戸地区、養父市出合地区が「ふるさとむら」に仲間入りしました。両地区で一緒に活動をしていただける方を募集するため、3 月 5 日に坂戸地区、3 月 20 日に出合地区を訪れました。むらの中を歩いたり、バスで移動しながらふるさとむらの方の熱心な説明をお聞きし、何名かの方々が早速この地区で活動を始めたいと地区登録をされました。

市川町坂戸地区

坂戸地区は、南北に流れる二級河川の市川が東西に遮断するように横たわる坂戸山北面に位置し、山裾傾斜地に約 30haの農地、83 戸の集落と農地を養う 13 のため池で形成された典型的な中山間地域です。

地区のスローガンを「円(わ)の坂戸見晴らしよし」と定め、高齢化が進む中で平成 18 年に農地の担い手として設立した「坂戸営農生産組合」を中心に、地域の活性化に向け、美味しい奥播州坂戸米(コシヒカリ)の栽培、体験農場を通して都市との交流、地域高齢者向け「坂戸販売所」の運営などに取組んでいます。

今回、基本的な農作業である田植え、草刈り、収穫作業の応援だけではなく、市川町が進める町花「ひまわり」の特産品開発に向けて地域でひまわりを栽培し、そのPRと新たな活性化を目指すために「ふるさとむら」に登録しました。また、イベント等の参加を通して地域を超えた絆を深め、一緒に農作業を楽しめたらと思っています。

また、7 月 31 日(日)には、自然環境を活かした都市・地域住民の交流の場として、「第2回泥んこバレーボール大会いちかわ」が坂戸地区の農地で開催される予定です。併せて参加頂ければと思います。



養父市出合地区

出合校区は、270 戸 750 名が暮らす小さな校区です。少子高齢化と過疎化が進む中、平成 16 年に小学校の統廃合で、当地区の学校は廃校になり、校区の住民が触れ合う拠点としての学校の機能が失われました。その閉塞感を打破し住民の絆と活気を取り戻すための新しいまちづくりを目指して、平成 21 年 10 月に出合校区協議会を設立しました。

校区には県最高峰の氷ノ山の恵みを受けた大自然、別宮地区の東鉢スキー場、桂の木、棚田、ラベンダー、轟の大根、鶉縄の深谷、朝倉山椒、ヤマメ、葛畑の農村歌舞伎と舞台、土人形、安井の大草履などがあり、これらの豊かな資源を生かしたまちづくりをどのように進めていくか手探りの状態です。そのような中で先ず地元で生産する野菜、山菜の地産地消を目指して女性の有志の方を中心に特産品の開発と漬物づくりに着手したところです。

新しいまちづくりを目指す出合校区協議会「であいの里」を拠点に先ず土人形造りに携わって頂き、校区の素晴らしさに触れて下さい。そして各種イベント、行事に参加して頂きアドバイス、ご支援をください。そして共に楽しんで頂きたいと思っています。



農村ボランティア活動研修会のご案内

6 月 26 日(日)たつの市浦部地区、7 月 24 日(日)市川町坂戸地区で活動研修会を開催し、参加者を募集します。研修会の内容は、浦部地区では染料用紅花の花摘み、坂戸地区では草刈り機を使った草刈りと、農業用水路の清掃です。各 20 名を募集しますので、電話・FAX・E-mail で、お名前・住所・連絡先(携帯)・バス利用の有無(乗車場所)をお申込みください。両日とも三ノ宮の神戸市役所花時計前から姫路駅経由の送迎バスを運行します。詳しくは兵庫楽農生活センターホームページ(農村ボランティアの広場)をご覧ください。先着順で受け付け、定員になり次第、締め切ります。

編集・発行 (社)兵庫みどり公社 兵庫楽農生活センター 楽農交流課 農村ボランティア事務局

所在地 : 〒651-2304 神戸市西区神出町小東野 30-17

電話 : 078-965-2651 FAX : 078-965-2653

E-mail : koryu@forest-hyogo.jp HP : <http://hyogo-rakunou.com/nousonbora/>